

こうふ広域119

年報!

もくじ

PICK UP

| | |
|----------------------|---|
| 「日勤機動救急隊運用開始」 | 1 |
| 電気社会に潜む火災危険 | 2 |
| ライブ映像119 | 3 |
| 感震ブレーカーと住宅用火災警報器について | 4 |
| 新人消防士の紹介 | 5 |
| 私たちの市・町の火災と救急統計 | 6 |
| 各種活動の紹介 | 7 |



日勤機動救急隊運用開始

近年、高齢化の進展等により救急出場件数が増加しており、今後においても救急需要の更なる増大が見込まれています。増加する救急出場件数を分散化させ、現場到着時間の短縮など効果的な運用の確保と救急隊員の負担軽減による救急業務の質の維持を目的とし、令和6年5月20日に日勤機動救急隊を発隊し運用を開始いたしました。

当消防本部管内の中心部にある西消防署貢川出張所を拠点とし、平日の午前9時から午後5時まで運用を行います。隊員は、定年延長職員及び再任用短時間勤務職員4名(救急救命士含む)を配置しております。

今後においても出場件数などの実績による運用効果及び救急需要の分析・予測結果に基づき救急需要多数エリアへの移動または配置も検討しており、引き続き救命率の向上に努めてまいります。



発隊式の写真



甲府地区消防本部キャッチフレーズ

救える命を救うため、救急車の適正利用にご協力ください

救急車を呼ぶ前に考えよう



当消防本部における令和5年中の救急出場件数は17,354件(昨年比+758件4.6%増)、搬送人員は16,133人(前年比+622人4.0%増)でした。この件数を1日平均にすると、47.5件出場し44.2人を搬送しています。また、約30分に1回の割合で出場したことになり、管内人口の約19人に1人が搬送されたこととなります。近年、救急車の出場件数・搬送人員数はともに増加しており、救急車の現場到着時間は延伸しています。救急車を本当に必要とする人のために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

**急な病気やけがで迷った時は、救急電話相談窓口
「#7119」へご相談ください。**

ただし、こんな時には迷わず119番!

- ▶ 突然の激しい頭痛や胸痛、腹痛
- ▶ 目の前で人が倒れた、意識がない
- ▶ 交通事故(強い衝撃を受けた)
- ▶ 急にろれつが回らない



電気社会に潜む火災危険

電気製品の開発が進むにつれ快適な暮らしが可能となりました。利便性が向上した半面、新たな火災発生原因も生まれました。

リチウムイオン電池

リチウムイオン電池は、大容量の電力を蓄えることが可能で、繰り返し充電して使用できる電池です。その利便性故、スマートフォンやゲーム機器、電子タバコ、掃除機など、身の周りのあらゆる製品に内蔵されています。

しかし、リチウムイオン電池には、衝撃を加えると発火するなどの危険性が潜んでおり、正しい方法で廃棄しないと大きな事故につながる可能性があることから、次のことに注意してください。

対策

- ◎使用する前に取扱説明書をよく確認する。
- ◎衝撃を与えないよう適切に取り扱い、むやみに分解しない。
- ◎メーカーが指定する充電器やバッテリーを使用する。
- ◎膨張、充電中に熱くなる等の異常がある場合は使用をやめ、メーカーや販売店に相談する。
- ◎不用品を処分する際は、地域のごみ回収方法をよく確認する。



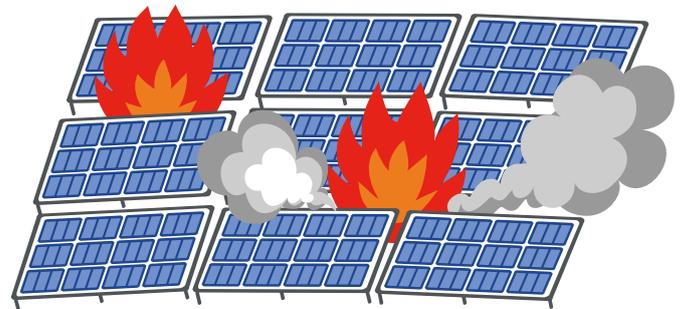
ソーラーパネル

ソーラーパネルは、建築物の屋根や広大な敷地に設置されているイメージがありますが、折りたたみ式のコンパクトなソーラーパネルも開発され、身近な製品となっています。

ソーラーパネルに関する火災の原因の一つとして「ホットスポット」の発生があげられます。「ホットスポット」とは、ソーラーパネルの一部のみが故障または日陰等により発電できない状態が続き、流れなくなった電気が熱となって放出される現象です。高温となったソーラーパネルに汚れやゴミ等の可燃物が長時間接触し続けることで発火する可能性があります。他にも配線トラブルが火災の原因となることもあります。

対策

- ◎発電量を定期的に確認し発電量の低下などの異常がないか確認する。
- ◎定期的なメンテナンスや検査を実施する。
- ◎周囲の草木を手入れし、日陰によるホットスポットの発生を防ぐ。



適切な使用と処理を心がけましょう。



ライブ映像119

『ライブ映像119』とは、通報者が撮影した映像を指令センターに送信する119番通報システムです。火災・救急など様々な事案で活躍しています。

通報イメージ



指令センター

映像通報をお願いできますか？



Point

119番通報中、
通報者に
指令センターから
依頼します!!

わかりました。協力します!
どうすればいいですか？



通報者



指令センター

スマートフォンにメールを送ります。その指示に従ってください。一度電話を切ります。

Point

メールどおりに
操作して接続!!



一度通話を切ります

繋がりました! 見えますか？



通報者

Point

少し離れて
撮影!!



映像オペレーター

こちらにも繋がって見えています。
カメラを現場に向けてください。



わかりました。



通報者



映像オペレーター

状況がよくわかりました。ご協力
ありがとうございます!



※この通報には、通報者に動画通信によるパケット通信料が発生します。

『サイレンを止めて』と言わないで

『近所の迷惑になる』『サイレンを止めて来てほしい』

このような通報が非常に増えてきています。消防は緊急の要請で出動し、いち早く皆様のもとへ向かう必要があります。安全上、法律でも定められているためサイレンを止めて緊急走行をすることはできません。ご理解ご協力をお願いします。



お問合せ先 ▶▶ 指令課

TEL:055-222-1190(自動音声ガイダンスが流れたら9番を押して下さい。)

FAX:055-235-2119

地震の時、自動で電気を遮断できる感震ブレーカーをつけましょう

能登半島地震で発生した石川県輪島市の「輪島朝市」周辺の大火災は、屋内電気配線が地震で傷つきショートするなど、電気が原因となった可能性が高いとされています。

地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的です。

感震ブレーカーは、地震発生時に設定以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

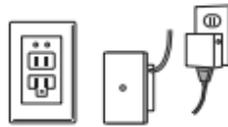
主な感震ブレーカーの種類



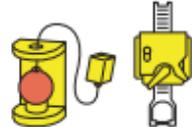
分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

詳しくは内閣府で作成したリーフレットをご確認ください。➔



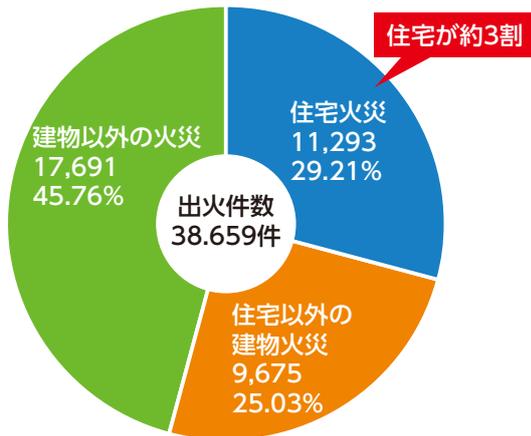
※購入に関して:電気工事を伴うものは電気工事店へ、伴わないものは防災用品等を取り扱うお店へお問い合わせください。

住宅用火災警報器は全ての住宅に設置が義務です!!

火災死者の約7割は住宅で発生!

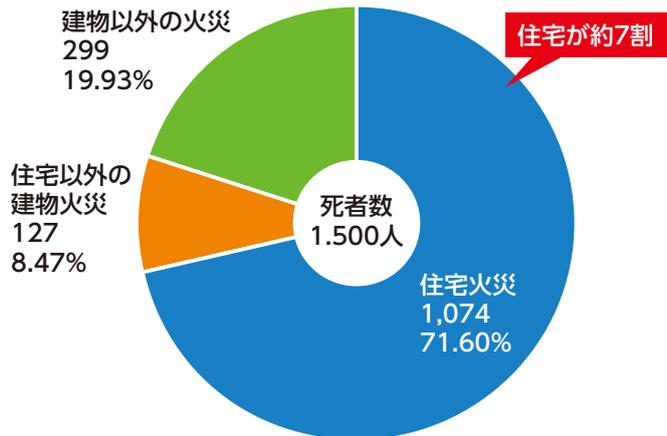
令和5年中の住宅火災の件数は総出火件数の約3割ですが、住宅火災による死者数は総死者数の約7割を占めています。
(総務省消防庁公表データ:この数値は概数値であり、今後の火災調査の状況によって、変わり得ます。)

令和5年中の火災件数



※放火を含むすべての火災

令和5年中の火災死者数



※放火自殺者等を含むすべての死者

甲府地区消防本部管内の設置率は78.5% (令和6年6月現在)
事前に住宅用火災警報器を準備していただければ職員が取付支援に伺います。

住宅用火災警報器の点検・交換

- 点検は定期的に 本体のボタンを押すか、付属の紐を引きます。正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
 - 交換の目安は10年 ▶▶ 設置から10年以上の場合も交換しましょう
- ▶▶ 反応しない場合は、すぐに電池又は本体を交換しましょう

お問合せ先

◎予防課
◎中央消防署

Tel.055-222-1291
Tel.055-254-9119

◎南消防署 Tel.055-233-1499
◎西消防署 Tel.055-276-3825

※悪質な訪問販売にご注意ください。また消防職員が販売することはありません。

10名の新人消防士が12月から現場に配属されます!!

今年の4月から10名の職員が消防吏員として採用されました。

4月9日から約8カ月間、山梨県消防学校で消防士として必要な基礎知識を学び、厳しい訓練に励んできました。

12月からいよいよ現場への配属となります。圏域住民の皆様のために精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

①消防士を目指した理由

②今後の目標



櫻林消防士

- ①甲府市生まれ甲府市育ちの私は、地元の皆様へ安全・安心を自分自身の手で守りたいと考えたからです。
- ②技術や知識を磨き、一人でも多くの方を救いたいです。

廣瀬消防士

- ①小学生の時、サッカーの試合中手首を骨折した際、優しく対応してくれた救急隊員に憧れ、消防士を目指しました。
- ②圏域住民の皆さんに、安全・安心を与える消防士になりたいです。

塚原消防士

- ①怪我人のもとへ、いち早く駆け付け処置をする消防士の姿を目の当たりにし、私も消防士になりたいと思ったからです。
- ②圏域住民の皆さんが、安全・安心に暮らせるまちづくりに貢献できる消防士になりたいです。

幡野消防士

- ①母親が人の命を救う仕事をしていて、私自身も人を助ける仕事をしたいと思ったからです。
- ②一人でも多くの圏域住民の方の役に立てる消防士になりたいです。

宮川消防士

- ①小学生の時、近所の火災現場で懸命に活動している消防士の姿に憧れ、消防士を目指しました。
- ②誰からも頼りにされる消防士を目指して頑張っていきたいです。

今村消防士

- ①私自身の家族も含め、多くの方々の役に立てる仕事をしたいと思ったからです。
- ②救急救命士の資格を取り、多くの方々の命を救いたいです。

岡本消防士

- ①小学生の時に見た、甲府西消防署の消防士に憧れたからです。
- ②自分自身の手で、大切な人を守る消防士になりたいです。

植村消防士

- ①幼い頃に見た、火災現場で強い使命感のもと、活動している消防士に憧れを抱いたためです。
- ②何事も冷静に判断することができ、圏域住民の方から信頼される消防士になりたいです。

福島消防士

- ①中学生の時に職場体験で消防署を訪れ、命を救うことができる仕事は素晴らしいと思ったからです。
- ②多くの方の役に立ち、信頼される消防士になりたいです。

伊藤消防士

- ①火災現場で消防士の方に身を守ってもらった経験があり、消防士に強い憧れを持ったからです。
- ②圏域住民の方々の命と財産を守る消防士になりたいです。

火災想定訓練など様々な訓練を行いました!!



私たちの市・町の火災と救急統計

火災件数

令和6年上半期の火災件数は43件で、昨年同期と比べ17件の減少、火災による死者の数は2人で昨年同期と同じとなっています。

主な出火原因は、放火(疑い含む)が5件、たばこが4件、配線器具が3件となっています。

過去の統計から見ても、たばこと放火(疑い含む)が原因となる火災は、常に上位に入っています。たばこについては、多くが投げ捨てによるものですので、たばこの投げ捨ては絶対にやめましょう。また灰皿には水を入れ確実に消したことを確認するようにしてください。放火については、放火されやすい環境を作らないために家の周りは整理整頓し、燃えやすいものは置かないようにしましょう。

最近では、配線器具からの出火が増加傾向でありますので、「タコ足配線をしない。」「コンセント周りは定期的に掃除をする。」などの身近でできることをしていただきたいと思えます。また、使用中に異常を感じましたら速やかに使用を停止し、メーカー等に問い合わせをお願いします。

救急件数

令和6年上半期の救急出場件数は8,690件で、1日平均約48件出場しています。事故種別ごとに見ると、急病が5,886件と最も多く、次に一般負傷が1,277件、交通事故が565件となっています。急病の中には成人の突然死も含まれ、その主な原因は、急性心筋梗塞や脳卒中です。

急性心筋梗塞では「胸の真ん中に突然生じる痛み・締め付けられるような重苦しさ・圧迫感」などの症状があり、脳卒中では「体の片方に力が入らない・しびれる」「うまくしゃべれない」などの症状があります。その初期症状に少しでも早く気づいて119番通報し病院で治療を始めることが重要です。

また、心臓や呼吸が停止するような場合には、すぐにAEDや心肺蘇生法などの応急手当を実施することで、大切な命が助かる可能性が高くなります。

火災原因の比較

| 区分 | 令和6年上半期 | 令和5年上半期 |
|----------------|---------|---------|
| 放火(疑い含む) | 5件 | 6件 |
| たばこ | 4件 | 9件 |
| 配線器具 | 3件 | 6件 |
| 火入れ | 3件 | 4件 |
| たき火 | 1件 | 3件 |
| ストーブ | 0件 | 3件 |
| こんろ | 2件 | 2件 |
| 不明・その他(調査中を含む) | 25件 | 27件 |
| 合計 | 43件 | 60件 |

令和6年上半期(1月~6月)

火災件数 43件

救急件数 8,690件

※中央道18件・管外5件を含む。

甲府市

火災件数 26件
 焼損面積 112㎡
 損害額 6,410千円
 救急件数 6,003件

甲斐市

(旧双葉町を除く)

火災件数 4件
 焼損面積 152㎡
 損害額 9,693千円
 救急件数 1,351件

中央市

火災件数 8件
 焼損面積 272㎡
 損害額 413千円
 救急件数 699件

昭和町

火災件数 5件
 焼損面積 146㎡
 損害額 9,633千円
 救急件数 614件

火災件数等の比較

| 区分 | 令和6年上半期 | 令和5年上半期 |
|-------|----------|----------|
| 火災件数 | 43件 | 60件 |
| 建物火災 | 28件 | 38件 |
| 損害額 | 26,149千円 | 59,460千円 |
| 焼損床面積 | 682㎡ | 1,070㎡ |
| 焼損表面積 | 325㎡ | 98㎡ |
| 死者 | 2人 | 2人 |
| 負傷者 | 8人 | 13人 |

救急件数等の比較

| 区分 | 令和6年上半期 | 令和5年上半期 |
|--------|---------|---------|
| 救急出場件数 | 8,690件 | 8,114件 |
| 搬送人員 | 8,033件 | 7,571件 |

各種活動の紹介

山梨県国中消防指令業務等共同運用事務協議会の設置について



国中地域の6消防本部（甲府地区・峡北・笛吹市・峡南・東山梨・南アルプス市）では、119番通報の受信等を行う消防指令センターの共同運用に向け、令和6年1月19日に各組織の代表者による「山梨県国中消防指令業務等共同運用事務協議会協議書調印式」が行われ、令和6年4月1日に同協議会が設置されました。今後は、協議会において、整備内容や運用方法等の調整を図り、令和8年4月1日の消防共同指令センター運用開始を目指してまいります。

緊急消防援助隊派遣（能登半島地震）



緊急消防援助隊は、大規模災害や特殊災害が発生した際に、被災地からの要請をうけ、全国から派遣される部隊です。当消防本部からも、令和6年1月1日に発生した石川県能登半島地震へ、同年1月9日から19日までの間、緊急消防援助隊として職員を派遣しました。指揮隊、消火小隊、救助小隊、救急小隊、後方支援小隊、通信支援小隊24隊69名の隊員が被災した輪島市内で人命救助活動や安否確認、救急搬送活動に従事しました。

水難救助訓練



令和6年6月17日、24日、25日、26日の4日間、甲府市小瀬町の小瀬スポーツ公園内を流れる一級河川蛭沢川で水難救助訓練を実施しました。この訓練は、水難事故対応に必要な救助技術の習得と現場対応能力の向上を目的として行い、写真は中州に取り残された要救助者を救助している様子です。実際の河川を使用した訓練を行うことで実践的な訓練となり、各隊員の技術の向上を図ることができました。

第51回山梨県消防救助技術大会



令和6年6月11日、山梨県消防学校において山梨県消防救助技術大会が開催され、日々の訓練で鍛えた救助技術を競い合い、甲府地区消防本部は「ロープブリッジ渡過」の種目で優勝し、会場を沸かせました。また、困難を乗り越える消防士の姿に、多くの圏域住民が熱い声援を送りました。代表選手は、令和6年8月23日に千葉県で開催された「第52回全国消防救助技術大会」に山梨県を代表して出場しました。

交通事故対応訓練



令和6年5月22日、29日、30日の3日間、1分1秒を争う交通事故現場において、迅速かつ安全に救出救護を行うことを目的として、実車両を利用し車両に取り残された要救助者を救出する交通事故対応訓練を実施しました。写真は、油圧プレッシャーを使用して事故車両ドアの開放を実施している様子です。

第50回甲府地区支部消防団員総合訓練大会



令和6年7月7日に山梨県消防学校において、甲府市、甲斐市、中央市及び昭和町の消防団員総勢710名が参加し、第50回甲府地区支部消防団員総合訓練大会が開催されました。この大会では消防訓練礼式、ポンプ車操法及び小型ポンプ操法が行われ、各団から選ばれた125名が日頃の訓練の成果を披露しました。

災害防災応援企業等

※締結順

- 一般社団法人山梨県LPガス協会
- 一般社団法人日本コミュニティーガス協会関東支部山梨県部会
- 東京ガス山梨株式会社
- 東京電力ホールディングス山梨総支社
- 東海旅客鉄道株式会社
- 山梨県石油協同組合

- 株式会社オギノ
- 山梨県医科器械同業組合
- 一般社団法人全国クレーン建設業協会山梨支部
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 富士急行株式会社
- 山梨生コンクリート協同組合
- 峡南生コンクリート協同組合